

「安全・安心・経済合理性のある 店舗防犯システムづくり」

一般社団法人千葉県防犯設備協会 理事
株式会社エイジス 海外事業本部 統括マネジャー
防犯設備士資格者番号 第15-26128号

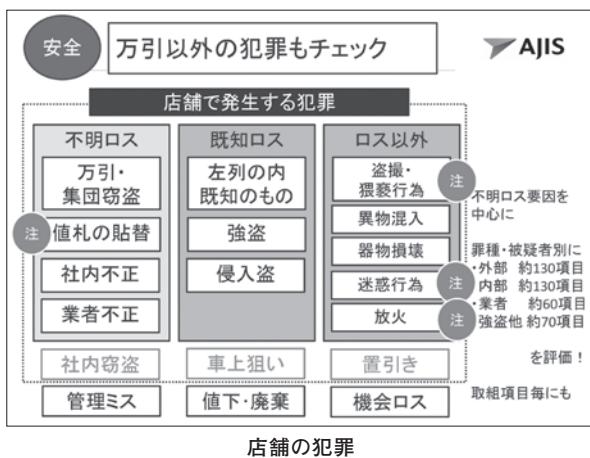
阿部 孔孝



私は、2016年に防犯設備士資格を取得しました。

エイジスの主な事業は小売業向けの棚卸・マーチャンダイジング・調査サービスです。

防犯設備や警備の会社でない者が、なぜ防犯設備士の資格取得を志したのか。私は主に小売業向けのロスプリベーション(以下LPと呼ぶ)・コンサルタントに従事しています。LPとは小売業で発生するロスの中で、不明ロスと呼ばれる万引、内部不正、取引先不正、ミスの4要因を予防・対策することです。これ以外に、店舗で起こる強盗、侵入盗、異物混入、器物損壊、猥褻、迷惑客、放火犯など各種犯罪の対策も含みます。



扉のこじ開け痕

LPを考えたとき、不明ロスの約80%(万引、内部不正、取引先不正)が犯罪によるものであることから防犯は必須です。

小売業が防犯を実行する際の主な登場人物は、「小売業自身・防犯設備業(カメラ等)・警備業(機械警備・施設警備等)・警察」です。それら各業界が実際に持っている技術・力量、強みを知った上で、LPのスキームを構築したいと思い、防犯設備士資格を取得しました。

実際に感じているメリットは、技術の基本を学べる、実践の場が広がる、業界の情報入手、人的ネットワーク、そしてクライアントからの信用です。これらは地域協会に属していることによるものが一番大きいです。

前置きが長くなりました。以下に実際の業務を紹介します。

【千葉県防犯優良マンション・アパート認定審査員】

千葉県防犯設備協会(千防設)の平間会長から愛情あふれる指導の下、図面審査、竣工後審査を行っています。慣れない建築図面と格闘しながら、現在も日々勉強です。

- ・フェンスの高さ、柵の材質、集合玄関・集合ポストの有無
- ・場面ごとに必要となる照度が確保できる照明配置
- ・玄関扉、鍵、窓、シャッターなどはCP相当か
- ・設置基準から必要とされるカメラの位置、画角
- ・マグネットセンサー、空間センサー、非常通報ボタン、警報機の設置確認など

この審査員の資格要件に防犯設備士が必要です。



認定住宅の防犯設備はオススメです。防犯環境設計の理念に沿っているだけでなく、地域の安全・安心にも役立つものと思っております。自宅はもちろん、親、子供の住まいにも認定住宅レベルの防犯設備がほしいと実感しています。我が家も同等以上の防犯設備を導入していますが、設備はどんどん進化していますので、小規模リフォームの際に適時アップデートしています。



玄関センサー

【ロスプリベンション・コンサルタント】

LPによるクライアントの利益の最大化のため、コストパフォーマンスは当然考慮した上で、経営層への啓蒙、店舗防犯診断から、施設レイアウト、カメラ・EASなど防犯設備の設置(図面作成・機種選定・施工立会)、警備導入・運用、従業員オペレーション・ルール策定、防犯表示物の作成・運用、犯人対応(警察の協力)まで含めた防犯設計をしています。また定期的な店舗巡回によるLP(防犯含む)指導で運用サポートも。

店舗巡回によるヒアリング、現場確認、被害・犯人データ分析することで気付かされる事実、法則が多くあります。また繰り返しの巡回で店舗従業員の防犯意識レベルが上がり、ロスも下がっているときは、やりがいを感じます。

心がけていることの一つに、店舗従業員の方に極力負担をかけないことです。

店舗従業員の方は、近年仕事量が増加し、かつ働き方改革もあり労働時間数も制限されています。つまり以前より「忙しい」状況です。機械で置き換えられるならば機械に、やらなければならないことのうち、絶対やるべきことのみに絞り、やる内容もシンプルにします。やらないより、やったほうが良いことは割愛します。

ロス「0」は目指しません。社会的公器たるクライアントの社会的責任とコストパフォーマンスとのバランスを判断のモノサシとしています。

店舗防犯診断とは？

AJIS

調査項目	万引対策	内部不正対策	業者不正対策
	強盗対策	管理ミス対策	迷惑客対策

■ 店舗防犯のプロがお店のロス要因になりやすい問題点を約270項目の診断シートで調査
■ 診断結果から防犯上の脆弱性分析
■ 対策は主に費用対効果で順位付け

18

店舗防犯診断とは



防犯講話でのパトロール風景

これからも、安全安心な場面(住居・店舗・地域)づくりの活動に、一防犯設備士として、貢献したいと考えております。引き続き、日防設、千防設、そして縁ありお会いした方々、皆様からご指導賜りますよう、よろしくお願ひいたします。